

## 『新型コロナウイルス第3波における当院の取り組み』

2020年4月の時点で当院の取り組みについて紹介させていただきましたが、第3波とも言われる現状を踏まえて、新型コロナウイルスに対する当院の取り組みを改めて報告させていただきたいと思っております。

### 【 『発熱外来』のリニューアル拡充 】

発熱や咳、喉の痛みなど風邪症状がある、または倦怠感・味覚障害・嗅覚障害で来院の皆様に対し、まず「横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター（帰国者接触者相談センター）」（045-550-5530）、もしくは「神奈川県発熱等診療予約センター」（0570-048914/045-285-1015）に相談していただくようお願いしております。濃厚接触者になったかもしれない、PCR検査を受けたいなどの不安がある方も同様です。（※横浜市ホームページ参照 <https://www.city.yokohama.lg.jp/>）

そのうえで当院を受診される場合には、まず当院にお電話で連絡をお願いいたします。一般患者さまとの接触機会をなくすために、平日の時間制限による『発熱外来』にて対応させていただいております。『発熱外来』は11月に拡大移設し、これまでより多くの発熱患者さまに対応できるようになりました。

『発熱外来』ではN95マスク、手袋、飛沫感染防止のためアイガードやフェイスシールド、ガウン着用などの感染予防対策を必要とします。通常業務をこなしながら限られた人員での対応となり、相応の時間を要しますので、無制限に対応することができません。お電話にて混雑状況や診察予約のお問い合わせをお願いしております。お問い合わせなく直接来院されました場合、『発熱外来』の状況次第では対応できかねる場合も想定されます。ご理解のほど宜しくお願いいたします。

尚、『発熱外来』にて新型コロナウイルスのPCR検査を受けることができます。唾液などによる検体を採取し検査会社に発注しますが、結果が判明しご連絡するまでに概ね一日程度を要します。またPCR検査を施行するかどうかは、診察医師の判断になりますので、ご理解のほど何卒宜しくお願いいたします。

また、CTなど院内の検査機器を使用する場合も、消毒など感染対策を行いつつながらになりますので、検査待ちの順番や待ち時間が変わる場合もございます。御了承のほどお願い申し上げます。

## 【 発熱者の入院対応 】

当院は感染症指定病院ではありませんので、新型コロナウイルス感染症患者の入院対応はできません。濃厚接触者を含め、新型コロナウイルス感染症が強く疑われる場合には、保健所などに相談し感染症指定病院に紹介することになります。

発熱や感冒症状を伴い入院を必要とした場合、一般の患者さまと隔てた個室に一定期間入っていただくなどして、治療経過をみさせていただくことしております。PCR 検査や治療経過など総合的に判断してから、一般病室へ移動していただきます。

院内感染対策として、現在も入院中の面会を全面的に中止させていただいております。適宜、主治医から病状報告があらうかと思いますが、院内の WEB カメラを用いた『オンライン面会』を行っております。完全予約制にて対応しておりますので、「地域連携室」までお問い合わせください。今しばらくご不便をおかけしますが、何卒ご協力のほど宜しくお願いいたします。

## 【 電話診察・オンライン診療 】

当院かかりつけの患者さまに限らず初診の患者さまに対して、『電話診察』や WEB カメラを用いた『オンライン診療』による対応をさせていただいております。これは厚生省からの通達に基づくものであり、新型コロナウイルス感染拡大に伴う感染対策の一環として認められております。

予約時間に主治医や診察医師からお電話させていただき、処方箋は指定薬局まで FAX など致しますので、患者さまが当院に出向くことなくかかりつけ薬局にてお薬を受け取ることが可能です。ただし、処方薬の制限や注意点がいくつかございます。『電話診察』や『オンライン診療』の予約、お問い合わせは、当院「メディカルコールセンター」までお問い合わせ下さい。

## 【 感染対策委員会活動 】

受付スタッフや外来スタッフも、マスク着用、アイガードやフェイスシールド装着、手指衛生にて院内感染対策に努めております。各所に手指消毒アルコール設置、外来待合椅子はソーシャルディスタンスが確保できるようにしてお

ります。また、院内入り口にはサーモグラフィーを設置しておりますので、ご自分で気づかれない発熱、体調管理のセルフチェックとして活用してみてください。

日々、新型コロナウイルス情勢は変化しておりますが、当院の「感染対策委員会」が臨時開催され、有志のスタッフも加わり都度対応を協議しております。患者さまには大変ご不便をおかしてしておりますが、何卒ご理解ご協力のほど宜しくお願いいたします。

横浜鶴ヶ峰病院 副院長 診療部長 川又朋章